

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第18号
令和6年12月5日 文責：有内 弘

学びを通して向上的変容（よりよく伸びる）へ

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」 ～可能性を力に～

12月（師走）に入り、朝晩は冷え込む日も増えてきました。1日の寒暖差も大きく、これから日ごとに気温が下がり、ますます寒くなっていきそうです。

またインフルエンザなどの感染症も心配される場所です。マスク着用は個人の判断となっていますが、手洗いや検温など個人でもできる予防はぜひ継続して行ってください。

学校では後期がスタートして過ごしやすい気候の中、学習を進めています。通常の授業はもとより、学年ごとの移動教室（それぞれの学習内容に応じて行き先が違います）や学校行事などいろいろな場や機会があり、子どもたちは学んでいます。PTA企画のイベントや講習会でも多くの学ぶ機会が用意されています。

学びを通して、「わかった」「できた」「ああ、そういうことか」「よし、もう1回やってみよう」など学んで得た知識・技能そして学ぶ意欲（興味関心）は、次への学びにつながっていきます。**向上的変容の実現**で、子どもたちは自らぐんぐん成長していきます。今後もしっかり応援していきます。

◆めざす子どもたちの学校での様子◆

【元気いっぱい】



4年生はボディパーカッション「やってみよう」と合奏「小さな世界」を楽しく、堂々と披露しました。

十一月二十一日に西南中学校音楽会が行われました。小

【温もりのある】



当日までにたくさんの準備や練習をがんばってきた子どもたち。呼びかけや品物の受け渡しなど、まるで本物の店員さんのようでした。

十一月二十八日午前中に「なかよしフェスタ」が、体育館を会場に開催されました。保護者の皆様ご参加本当にありがとうございました。

【誇れる+夢の実現】



4年4組で算数の研究授業が行われました。子どもたちはとても集中して学んでいました。



【書籍の紹介】ちょっと読んでみませんか！

題名 「 脳の強化書 」

脳は何歳からでも死ぬまで成長する。使えば使うほど能力を発揮するのが「脳」

日常生活で脳を鍛える。疲れやストレスはすべて「脳疲労」による。「もの忘れ」を解消する脳番地トレーニングが・・・

著者 加藤俊徳 発行所 株式会社プレジデント社